

## 2017 動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day” 開催される

平成 29 年 9 月 30 日、東京都駒沢オリンピック公園中央広場（東京都世田谷区）において、本会主催の市民参加イベントである「2017 動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day”」が実施された。本会の活動方針である「動物と人の健康はひとつ。そして、それは地球の願い。」をテーマとし、関係機関・企業等多数の出展の下、多くの来場者を得て盛大に開催された。

第 11 回目を迎える本行事は、動物の診療だけではなく人の健康にも深くかかわる様々な仕事に取り組む獣医師の役割とともに、動物たちが担う社会的役割の多様性を広く一般に普及して理解を促進することにより、動物愛護思想の普及・啓発、人と動物が共存して生きる豊かな社会の実現に寄与することを目的に日本獣医師会が公益目的事業として開催している。関係省庁・獣医師関係団体等の後援、関連企業等の協賛、関連団体、獣医学系大学等の協力のもと、獣医師への理解を深めてもらうよう多数の催し物が企画され、獣医学系大学の学生、高校生、動物飼育者等をはじめ、多数の一般市民が楽しみながら獣医師や獣医療への理解を深める一日となった。

当日は、開会式で、本会蔵内勇夫会長から、

「本日はご来場いただきありがとうございます。また、本日は公務ご多忙の中、片山さつき先生、高木美智代先生をはじめ、関係各省庁や特別協賛企業のご来賓の皆様等多数のご臨席をいただいております。日頃のご支援に厚く御礼申し上げます。

「動物感謝デー」は、世界獣医師会（WVA）が提唱する“World Veterinary Day”活動の一環として、獣医療の果たすべき社会的使命・役割、並びに獣医師が貢献する職域の多様性への国民の理解を深め、人と動物が共生する豊かな社会の構築を目指し、日本獣医師会が毎年秋に開催しているもので、今年で第 11 回目を迎えます。本年の開催にあたり多大なご支援とご協力をいただきました協賛企業、関係省庁、関係団体、教育機関はじめ関係するすべての皆様にあらためて深く感謝申し上げます。また、本日のイベントの開催にあたり、運営ボランティアスタッフとして日本獣医学生協会から約 230 名、日本動物看護職協会から約 60 名、東京都立園芸高等学校から約 100 名の方にご協力いただいております。こうした多くの皆様に支えられ、本年も盛大にイベントを開催できますことを大変うれしく思います。

前回の動物感謝デーは、世界獣医師会、世界医師会、日本医師会及び日本獣医師会が主催した、第 2 回世界獣医

師会 - 世界医師会“One Health”に関する国際会議の開催にあわせて、昨年 11 月に福岡県で開催いたしました。

“One Health”とは、「人の健康」、「動物の健康」、そして「環境の健康」は密接につながっているとする概念であり、持続可能かつ安心・安全な社会の構築に不可欠なものとして世界的に理解が進んでいます。獣医師は、その知識や技術を活かし、動物の健康を守り、人と動物の共通感染症対策や生物多様性の保全などあらゆる分野から専門職として“One Health”を推進し、支えてまいります。

本年の動物感謝デーは、再び東京に会場を移しての開催となります。会場内では地方獣医師会、関係団体、関係企業、更には全国 16 の獣医学系大学のすべてから出展いただいております。特に、獣医師養成を目的とする大学と、獣医師が組織する職能団体である本会とは、今後とも密接な絆を築いていかなければなりません。皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

来場いただいた皆様には、このイベントを通じ、動物たちと獣医師の役割を身近に感じていただければ幸いです。様々な企画に参加いただき、見て、聞いて、体験して、動物と獣医師からの贈りものがいっぱい詰まった一日を、皆様どうぞ十分にお楽しみください。」

との挨拶がなされた。

式典においては、来賓の片山さつき自民党政調会長代理、高木美智代厚生労働副大臣の挨拶、関係省庁幹部、特別協賛者等来賓の紹介、祝電披露、日本全薬工業株式会社及びメリアル・ジャパン株式会社から本会に 200 万円が贈呈されたセーブペットプロジェクト寄付金授与式が行われた。続いて放鷹義塾により、開会宣言のメッセージを携えた鷹が客席の後方から、砂原和文副会長のもとへ飛んで行く演出が行われ、砂原副会長から開会が宣言された。

引き続き、メインステージでは、会場を訪れた自民党三原じゅん子参議院議員からの激励挨拶、鳥根県獣医師会及び鳥根県の協力による人気ご当地キャラクター「しまねっこ」のダンスステージ、東京都獣医師会の協力によるトークシンポジウム「殺処分 0」～そのために目指すべき様々な「0」について考える～、日本獣医師会が公助全国競馬・畜産振興会の助成を受けて実施しているアジア地域臨床獣医師等総合研修事業により来日している各国研修生とのトークショー「World Veterinary Day～アジアからの獣医師を迎えて～」、マイクロチップの大切さを寸劇で紹介する「家族の絆—マイクロチッ

プ」農場どないすんねん研究会の協力により獣医師の仕事と役割を紹介する「知っていますか？ 獣医師の仕事」が開催された。

また、デモンストレーションコーナーに設けられたイベントステージでは、中央畜産会ステージ「農場 HACCPって何？」、日本獣医学生協会による全国の獣医学系大学の魅力を獣医学生が学園祭の雰囲気さながらに紹介する「あにまる学園祭」が開催された。さらに、同コーナーではジャパンケネルクラブによるアジリティ教室、警察犬、災害救助犬の実演、聴導犬推進協会による聴導犬のデモンストレーション、家庭動物愛護協会によるドッグダンス、放鷹義塾等による鷹匠伝統技術デモンストレーション等が開催された。

展示コーナーでは、本会が獣医学生協会及び家庭動物愛護協会等の協力を得て実施した「1日獣医師体験コーナー」に整理券待ちの列が絶えず、体験した子供たちは獣医学生の指導を受けながらの聴診体験に瞳を輝かせていた。また、全国の獣医学系大学がブース出展した「獣医学系大学コーナー」では、東京農工大学のミニホースとシバヤギのふれあいコーナーが人気を集めた他、農場どないすんねん研究会による全国の大学クイズラリーが盛況であった。この他、パネル等を用いた各企業・団体の活動紹介、さらに「各都道府県市獣医師会コーナー」では北海道獣医師会、東北獣医師会連合会、栃木県獣医師会、群馬県獣医師会、埼玉県獣医師会、千葉県獣医師会、神奈川県獣医師会、東京都獣医師会、長野県獣医師会及び岐阜県獣医師会を中心とする中部地区の獣医師会、中国地区獣医師会連合会が出展し、各地の取組みが紹介されるとともに、飲食物の提供を行ったブースでは各地の畜産物を賞味しようと来場者が列をなしていた。また、東京都獣医師会の協力により動物救護所が設置され、万に備えた。アトラクションとしては、子供たちを対象とした「乗馬体験」、「ふれあい写真撮影」、「動物のお絵かきコーナー」（日本中央競馬会／馬事文化財団・馬の博物館）、「蹄鉄づくり実演」（日本装蹄協会のウサギ、モルモット、ミニブタ等とふれあう、「動物ふれあいコーナー」（東京都立園芸高等学校）が実施され、来場者の興味を惹きつけていた。

すべてのプログラムの最後にメインステージで行われた閉会式では、鳥海弘関東地区理事・動物感謝デー企画検討委員会委員長から、閉会挨拶として、本年のイベントが盛会裏に終了することへの御礼が述べられた。続いて北村直人日本獣医師会顧問・日本獣医師連盟委員長から閉会が宣言された。

日本獣医師会では、今後とも、日本獣医師会・獣医師会活動の指針の理念に基づき、本行事等を通じた、広く国民に対する動物との共生の重要性や獣医師の職務等の理解の醸成に努めることとしている。

以下に後援、協賛いただいた省庁、自治体、企業、団

体を改めて紹介するとともに、多くの企業・団体からの温かい支援、全国 55 地方獣医師会、地区獣医師会連合会の出展、協賛等への協力、さらに日本獣医学生協会及び日本動物看護職協会の多数のボランティアスタッフによる事業運営支援に対して改めてお礼申し上げたい。

## 2017 動物感謝デー in JAPAN 後援・協賛・協力団体

### 【後援】

農林水産省、環境省、厚生労働省、文部科学省、外務省、国土交通省観光庁、内閣府食品安全委員会、東京都、世田谷区、目黒区、公益社団法人 日本獣医学会、公益社団法人 日本動物病院協会、一般財団法人 動物看護師統一認定機構、一般社団法人 日本動物看護職協会、World Veterinary Association、ヒトと動物の関係学会、AIPO（動物 ID 普及推進会議）

### 【特別協賛】

共立製薬株式会社、日本全薬工業株式会社、ロイヤルカナン ジャポン合同会社、メリアル・ジャパン株式会社

### 【協賛・協力】

日本中央競馬会、公益財団法人 日本小動物医療センター、公益財団法人 日本動物愛護協会、公益財団法人 馬事文化財団（馬の博物館）、公益社団法人 全国農業共済協会、公益社団法人 畜産技術協会、公益社団法人 中央畜産会、公益社団法人 日本愛玩動物協会、公益社団法人 日本装蹄協会、公益社団法人 Knots、一般財団法人 生物科学安全研究所、一般財団法人 ペット災害対策推進協会、一般社団法人 家庭動物愛護協会、一般社団法人 ジャパンケネルクラブ、一般社団法人 全国ペット協会、一般社団法人 日本家畜人工授精師協会、一般社団法人 日本聴導犬推進協会、一般社団法人 日本養豚開業獣医師協会、一般社団法人 ペットフード協会、特定非営利活動法人動物愛護社会化推進協会、特定非営利活動法人野生動物救護獣医師協会、協同組合日本飼料工業会、福岡県畜産農業協同組合、狂犬病臨床研究会、農場管理獣医師協会、農場どないすんねん研究会（NDK）、放鷹義塾／STOOPER Falconry、北海道大学、帯広畜産大学、岩手大学、東京大学、東京農工大学、岐阜大学、鳥取大学、山口大学、宮崎大学、鹿児島大学、大阪府立大学、酪農学園大学、北里大学、日本獣医生命科学大学、日本大学、麻布大学、学校法人 シモゾノ学園／国際動物専門学校・大宮国際動物専門学校、学校法人 ヤマザキ学園／ヤマザキ学園大学、東京都立園芸高等学校、日本獣医学生協会、アニコム損害保険株式会社、イオンペット株式会社、株式会社 クレディセゾン、千寿製薬株式会社、日本動物高度医療センター、デビフペット株式会社、株式会社 スマック、株式会社 ディラ

イトクリエーション, 日特エンジニアリング株式会社, フジタ製薬株式会社, 株式会社 アグリス, 日清ペットフード株式会社, 森久保薬品株式会社, 株式会社 安田システムサービス, 損害保険ジャパン日本興亜株式会社, DS ファーマアニマルヘルス株式会社, 総合住宅展示場駒沢公園ハウジングギャラリー, 日生研株式会社, 有限会社ビッグブリッジ, 株式会社 インターズー, 株式会社 誠文堂新光社, 株式会社 緑書房, ユニ・チャーム株式会社, ライオン商事株式会社

**【協力地方獣医師会】**

公益社団法人 北海道獣医師会, 公益社団法人 青森県獣医師会, 一般社団法人 岩手県獣医師会, 公益社団法人 宮城県獣医師会, 公益社団法人 秋田県獣医師会, 公益社団法人 山形県獣医師会, 公益社団法人 福島県獣医師会, 公益社団法人 仙台市獣医師会, 公益社団法人 茨城県獣医師会, 公益社団法人 栃木県獣医師会, 公益社団法人 群馬県獣医師会, 公益社団法人 埼玉県獣医師会, 公益社団法人 千葉県獣医師会, 公益社団法人 神奈川県獣医師会, 公益社団法人 山梨県獣医師会, 公益社団法人 横浜市獣医師会, 公益社団法人 川崎市獣医師会, 公益社団法人 東京都獣医師会, 公益社団法人 新潟

県獣医師会, 公益社団法人 富山県獣医師会, 公益社団法人 石川県獣医師会, 公益社団法人 福井県獣医師会, 一般社団法人 長野県獣医師会, 公益社団法人 岐阜県獣医師会, 公益社団法人 静岡県獣医師会, 公益社団法人 愛知県獣医師会, 公益社団法人 名古屋市獣医師会, 公益社団法人 三重県獣医師会, 公益社団法人 滋賀県獣医師会, 公益社団法人 京都府獣医師会, 公益社団法人 大阪府獣医師会, 一般社団法人 兵庫県獣医師会, 公益社団法人 奈良県獣医師会, 公益社団法人 和歌山県獣医師会, 公益社団法人 京都市獣医師会, 公益社団法人 大阪市獣医師会, 公益社団法人 神戸市獣医師会, 公益社団法人 鳥取県獣医師会, 公益社団法人 島根県獣医師会, 公益社団法人 岡山県獣医師会, 公益社団法人 広島県獣医師会, 公益社団法人 山口県獣医師会, 公益社団法人 徳島県獣医師会, 公益社団法人 香川県獣医師会, 公益社団法人 愛媛県獣医師会, 公益社団法人 高知県獣医師会, 公益社団法人 福岡県獣医師会, 公益社団法人 佐賀県獣医師会, 公益社団法人 長崎県獣医師会, 一般社団法人 熊本県獣医師会, 公益社団法人 大分県獣医師会, 一般社団法人 宮崎県獣医師会, 公益社団法人 鹿児島県獣医師会, 公益社団法人 沖縄県獣医師会, 公益社団法人 北九州市獣医師会



図1 開会式で挨拶する  
藏内会長



図2 来賓挨拶する片山  
さつき自民党政調会長  
代理



図3 来賓挨拶する高木  
美智代厚生労働副大臣



図4 来賓挨拶する農林水  
産省消費・安全局の  
磯貝 保畜水産安全管  
理課長



図5 来賓挨拶する環境省  
自然環境局の則久雅司  
動物愛護管理室長



図6 来賓挨拶する厚生労  
働省健康局の磯貝達裕  
感染症情報管理室長



図7 来賓挨拶する文部科  
学省高等教育局の松永  
賢誕生専門教育課長



図8 来賓挨拶する内閣府  
食品安全委員会の川島  
俊郎事務局長



図9 セーブペットプロジェクト寄付金授与式。左から日本全薬工業株式会社取締役営業本部 CA 事業部 渡辺悟部長, メリアル・ジャパン株式会社 永田 正代表取締役社長, 本会藏内会長



図10 開会宣言を運んできた鷹を受ける砂原副会長



図11 愛犬とともに会場に駆けつけ、激励挨拶をいただいた三原じゅん子参議院議員と記念撮影する藏内会長



図12 日本中央競馬会と馬の博物館の協力による乗馬体験をする児童



図13 東京都獣医師会ステージ「殺処分0～そのために目指すべき様々な0について考える～」



図14 日本獣医師会ステージ「World Veterinary Day—アジアからの獣医師を迎えて」（全国競馬・畜産振興会助成事業による来日研修生の紹介）



図15 日本獣医師会ステージ「家族の絆—マイクロチップ」



図16 一日獣医師体験コーナーで犬の心音を聴く児童



図17 閉会挨拶をする鳥海 関東地区理事・動物感謝デー企画検討委員会委員長



図18 閉会宣言をする北村 顧問・日本獣医師連盟委員長